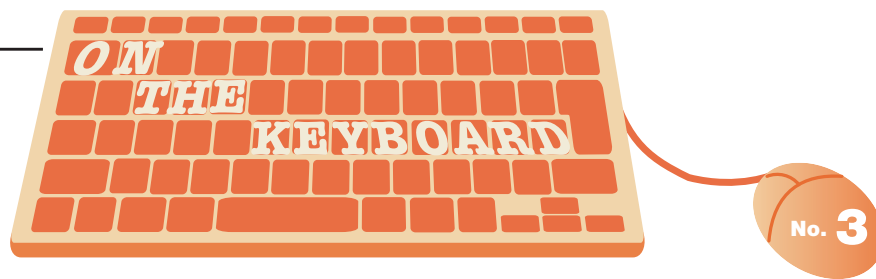


By Maya Jones



マヤ・ジョーンズ

1994年、英国・イングランド南東に位置するハンプシャー州生まれ。父親が英国人、母親がコロンビア人という家庭で育ち、幼少期から外国語と異文化に興味を抱く。2021年、ロンドン大学卒。専攻は日本語。在学中に来日し、1年間、東京外国語大学で学んだ。英国で開催された大学生対象の日本語スピーチコンテストで優勝するなど、卓越した日本語力を生かし、22年9月から東京都大田区の「おおた国際交流センター(Minto Ota)」で国際交流員として多文化共生を促進する仕事に従事している。趣味は絵画、写真、旅行、音楽・美術鑑賞など多岐にわたる。

## Cultural shocks or similarities? England also has ‘tatemae’

When I first moved to Japan to study abroad for a year, my Japanese teachers told me that I would experience a lot of cultural shocks. However, I was actually surprised by the number of similarities there are between English and Japanese culture — and I don’t just mean our shared love of tea!

For example, did you know that *tatemae* exists in Britain, too? To maintain a “stiff upper lip” means to keep your **composure** and refrain from revealing your true feelings when you are

bothered by something; it’s a saying which has come to be **synonymous with** British **stoicism**.

We also tend to be overly polite in certain settings, such as offering the last piece of cake to those around us, pretending that we are full despite secretly wanting to eat it.

But *tatemae* is not the only cultural similarity. The English idiom “keeping up with the Joneses” refers to the tendency to compare your own financial success and social class to that of

your neighbors, making efforts to maintain equal status through owning the same material goods and achieving the same things.

I’ve definitely noticed a similar **collective mentality** in Japan with regards to social comparison. Despite our similarities, I sometimes find myself missing the chaotic nature of Britain.

We form queues **obsessively**, yet we cross the street **willy-nilly**. We may be **reserved**, but that **doesn’t ever stop our tongue-in-cheek, risqué** sense of humor. Sometimes I forget I’m

not in England, leading to some humorous **faux pas!**



音声は本文と一部異なる場合があります。

**composure**  
平静、落ち着き  
**synonymous with**  
～と同義語の

**stoicism**  
冷静さ、禁欲主義  
**collective mentality**  
集団心理

**obsessively**  
異常なほどに、しきりに  
**willy-nilly**

ずさんに、手当たり次第に

**reserved**  
控えめな、無口の  
**tongue-in-cheek**  
ふざけた、皮肉交じりの

**risqué**  
(仏語)際どい  
**faux pas**  
(仏語)失態、無作法。単数も同形だが発音は異なる

対訳

### 異文化の衝撃？ それとも類似点？ 英国にも「建前」があるんです

1年間の留学で日本に初めてやってきたとき、日本語の先生たちは、私がたくさんのカルチャーショックを経験するだろうと言いました。でも実際は、英国文化と日本文化の共通点の数(の多さ)に驚かされました。私たちが共通に持つ、お茶を愛する心だけを言っているわけではありませんよ！

例えば、「建前」は英国にも存在することをご存じでしたか？「硬い上唇を保つ」(不屈の精神を好む)とは、何かに心を乱されたときでも平静を保ち、本心を表に出さないことを意味し、英国人の忍耐強さを表す言い回しです。

英国人はまた、特定の状況において必要以上に丁寧になりがちなどがあります。例えばケーキの最後の一切れを、本当は食べたいと思っているのに、満腹の振りをして周りの人に譲ったりすることなどです。

でも、建前が唯一の文化的な類似点ではありません。「ジョーンズ家に追いつく」と

いう英語の慣用句は、自分の経済的な成功や社会的地位を身近な人たちと比べ、同じ物を所有し、同じことを成し遂げることで、周りの人と同じ地位を維持しようと努力する傾向を指します。

社会の比較という点で、私は日本にも似たような集団心理があると気づきました。そうした類似性はあるけれど、英国の混沌とした部分をたまに懐かしく思う自分がいます。

私たちはまじめに列に並びますが、好きなときにいつでも道を渡ります。控えめかもしれませんが、皮肉交じりの際どいユーモアのセンスを抑えることはありません。時々自分が英国にいないことを忘れ、滑稽な失態を犯してしまうことがあります！

(訳 田端節子)